

モニターで障がい者に情報提供

福岡・糸島市

福岡県糸島市は今年度から、視覚・聴覚障がい者への情報提供を充実させようと、市健康福祉センター「あごら」に画面と音声で情報発信するモニターを設置し、関係者に喜ばれている。推進役で公明党の笹栗純夫市議は先ごろ、同施設を訪れ、担当者に話を聞いた【写真】。



設置されたモニターは平常時、視覚・聴覚障がい者に関する行事

などの案内用掲示板として使用。また、同施設は福祉避難所としての機能もあるため、緊急時には障がい者への災害情報の提供にも生かされる。

市福祉支援課によると市内の視覚・聴覚障がい者は合計609人(昨年度末現在)。同課の中園道也課長は「障がいがある利用者から喜ばれている。今後もしっかりと活用したい」と話していた。障がい者への情報提供については、笹栗市議が2010年の6月定例会で支援策の拡充を提案していた。